あけましておめでとうございます

需要喚起、地域の盛り上げに積極的に取り組みます

北海道支部

古田　和吉 支部長

北海道は、2016年3月の北海道新幹線開業、「2026冬季オリンピック」へ札幌市正式立候補など、明るい話題が続いています。日韓国交正常化50周年プロジェクト、国内旅行の需要喚起、訪日旅行取扱拡大等、本部と連携を取りながら会員相互の連携強化により、地域貢献・人材育成・課題解決などの活動を推進し、業界の発展と地位向上に向け、北海道観光を盛り上げてまいります。

東北支部

石垣　隆久 支部長

昨年は貸し切りバスの新運賃・料金制度改定を受け関係機関との意見交換会、海外旅行促進ポスターの作製やインバウンドセミナーの開催等を実施。また、本部主催の「JATAの道プロジェクト」では東北地域の復興対策事業が始動し、支部での社会貢献活動にも多くの地域会員会社の方々に参加いただきました。震災から4年、今年は福島DCをはじめ東北は復興を乗り越え飛躍へとシフトしてまいります。

関東支部

大澤　裕一 支部長

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録、新潟DCなどの明るい話題もありましたが、一方で2月の大雪、御嶽山の噴火、長野県北部の地震など観光に影響を与える災害も発生しました。このような時こそ現場感覚に立脚した活動が大切です。関東支部は今年も消費者の信頼に応え得る現場作りやコンプライアンスの促進、官公庁との連携の強化を使命として地方、現場から観光業界の発展をはかります。

中部支部

佐竹　晃 支部長

今年は北陸新幹線開業、リニア中央新幹線着工、中部国際空港開業10周年など、良い意味で節目の年です。また、中部北陸9県が官民一体となって、外国人観光客誘致を図る「昇龍道プロジェクト」も4年目となり、認知度も高くなっています。一方、和紙・和食のユネスコ世界無形文化遺産登録で、伝統的に「ものづくり」の盛んな地としても注目を集めています。これらを好機と捉え、観光振興による相互交流の促進および地域の活性化に取組みます。

関西支部

光山　清秀 支部長

昨年は、関西空港開港20周年記念・海外旅行委員会ロンドンチャーターを実施し、成功を収めることができました。本年も関空旅博を始めプレ関空旅博・BtoBネットワーキングイベント、海外教育旅行・英語研修ワークショップ&セミナー等の実施を予定、関係団体・機関と協力しながら需要喚起や人材育成、会員に対するサービスの充実を図ります。そして、会員の皆様とともに支部活動を推進していきたいと考えております。

中四国支部

青木　尚二 支部長

昨年は「瀬戸内しまのわ2014」や、「四国霊場開創1200年」、出雲大社遷宮事業等は大きな契機となりました。2015年も山口が舞台の大河ドラマ「花燃ゆ」、中国横断自動車・尾道松江線全線開通など話題豊富。この好環境を受け、海外旅行促進、JATAのPRなどを目的に、「広島空旅」や「えひめ空旅」などのイベントを開催します。インバウンドでは会員会社と行政・政府観光局・航空会社との連携強化を図り、双方向チャーターの促進など、特に東南アジアからの誘客に積極的に取組みます。

九州支部

山田　浩 支部長

2015年は九州への大型クルーズ船の就航が多くなると思われます。また、ななつ星や観光列車の旅行を楽しむお客さまも増えています。夏には大分でDCが開催されます。温泉地が豊富で新鮮な食が満載の九州へ、多くの国内及び海外からのお客様をお迎えし、満足度の高いサービスが提供できるよう関係機関とも協力して積極的に取組みます。

沖縄支部

東　良和 支部長

沖縄県では特に航空路線の拡充とクルーズ船寄港回数の増加に伴い、外国人観光客は昨年10月の時点で前年度を上回る実績を残しました。今後はインフラ整備をさらに充実させ、閑散期対策や地域の活性化についても沖縄支部として積極的に取り組む所存です。国家戦略特区としての沖縄の優位性を活かし、業界の牽引役となるべく会員の皆様とともに今年も邁進してまいります。